

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-128729

(43) 公開日 平成4年(1992)11月25日

(51) Int.Cl.<sup>9</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 1 F 13/15

7603-4C

A 6 1 F 13/18

3 2 0

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平3-35461

(22) 出願日 平成3年(1991)5月20日

(71) 出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 考案者 水本 博美

栃木県宇都宮市東宿郷3丁目9-7

(72) 考案者 酒井 吉弘

栃木県宇都宮市石井町3124-7

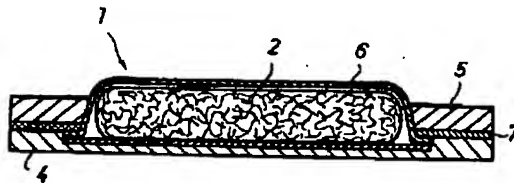
(74) 代理人 弁理士 羽島 修

(54) 【考案の名称】 生理用ナプキン

(57) 【要約】

【目的】 吸収性物品を排泄ポイントに確実に保持することができる生理用ナプキンの提供。

【構成】 本考案による生理用ナプキン1は、液透過性の表面材6と、液吸収性の吸収体2と、液不透過性の防漏材3とを積層してなり、上記液透過性の表面材側6には、着用者の肌に粘着する粘着剤5が配され、液不透過性の防漏材3の非肌当接面側に表面摩擦係数が0.3以下の部材4を用いていることを特徴とする。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 液透過性の表面材と、液吸収性の吸収体と、液不透過性の防漏材とを積層してなる生理用ナプキンにおいて、上記液透過性の表面材側には、着用者の肌に粘着する粘着剤が配され、液不透過性の防漏材の非肌当接面側に表面摩擦係数が0.3以下の部材を用いていることを特徴とする生理用ナプキン。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例による生理用ナプキンの斜視図である。

【図2】 図1に示す吸収性物品用保持シートをⅠⅠ-ⅠⅠ線に沿って切断した断面図である。

【図3】 本考案の他の実施例による生理用ナプキンの斜視図である。

2

【図4】 図3に示す吸収性物品用保持シートをⅣⅣ-ⅣⅣ線に沿って切断した断面図である。

【図5】 本考案の他の実施例による生理用ナプキンの斜視図である。

【図6】 図5に示す吸収性物品用保持シートをⅤⅤ-ⅤⅤ線に沿って切断した断面図である。

【符号の説明】

1 生理用ナプキン

2 吸収体

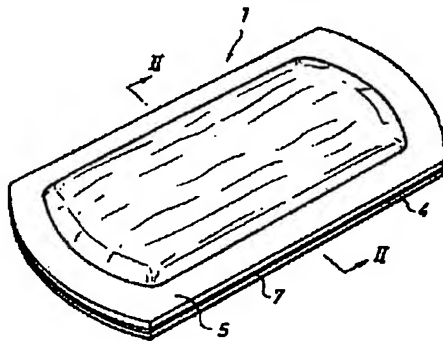
10 3 液不透過性の防漏材

4 滑り部材（部材）

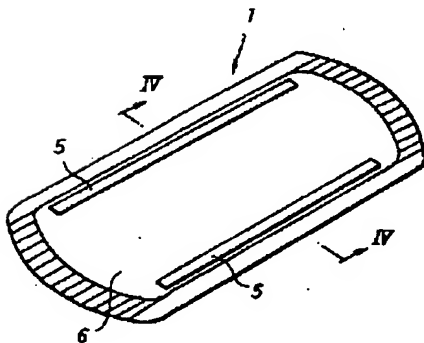
5 粘着部（粘着剤）

6 液透過性の表面材

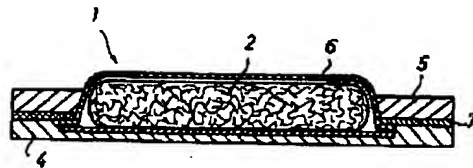
【図1】



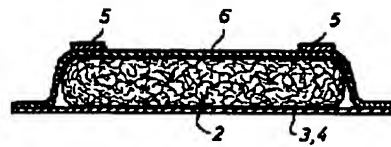
【図3】



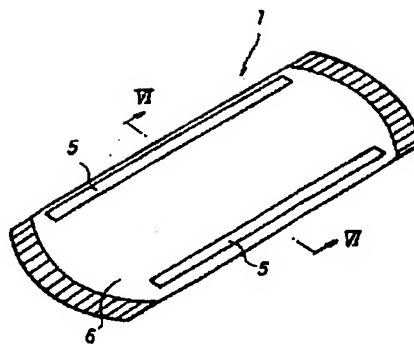
【図2】



【図4】



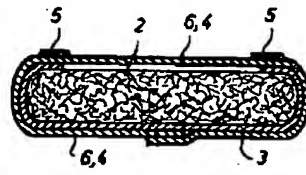
【図5】



(3)

実開平4-128729

【図6】



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-128729

(43) 公開日 平成4年(1992)11月25日

(51) Int. Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 13/15		7603-4C	A 6 1 F 13/18	3 2 0

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実開平3-35461

(22) 出願日 平成3年(1991)5月20日

(71) 出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 考案者 水本 博美

栃木県宇都宮市東宿郷3丁目9-7

(72) 考案者 酒井 吉弘

栃木県宇都宮市石井町3124-7

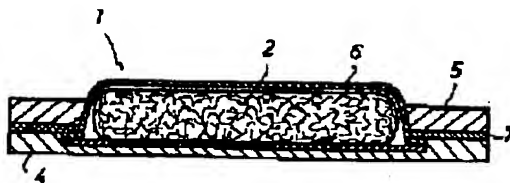
(74) 代理人 介理士 羽鳥 修

(54) 【考案の名称】 生理用ナプキン

(57) 【要約】

【目的】 吸収性物品を排泄ポイントに確実に保持することができる生理用ナプキンの提供。

【構成】 本考案による生理用ナプキン1は、液透過性の表面材6と、液吸収性の吸収体2と、液不透過性の防漏材3とを積層してなり、上記液透過性の表面材側6には、着用者の肌に粘着する粘着剤5が配され、液不透過性の防漏材3の非肌当接面側に表面摩擦係数が0.3以下の部材4を用いていることを特徴とする。



I

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 液透過性の表面材と、液吸収性の吸収体と、液不透過性の防漏材とを積層してなる生理用ナプキンにおいて、上記液透過性の表面材側には、着用者の肌に粘着する粘着剤が配され、液不透過性の防漏材の非肌当接面側に表面摩擦係数が0.3以下の部材を用いていることを特徴とする生理用ナプキン。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例による生理用ナプキンの斜視図である。

【図2】 図1に示す吸収性物品用保持シートをI-I線に沿って切断した断面図である。

【図3】 本考案の他の実施例による生理用ナプキンの斜視図である。

2

【図4】 図3に示す吸収性物品用保持シートをI'-I'線に沿って切断した断面図である。

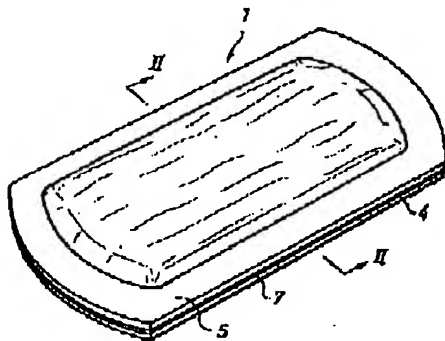
【図5】 本考案の他の実施例による生理用ナプキンの斜視図である。

【図6】 図5に示す吸収性物品用保持シートをV-V'線に沿って切断した断面図である。

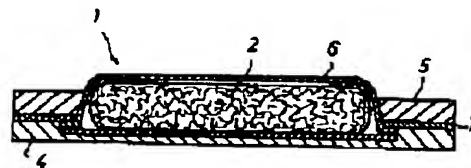
【符号の説明】

- 1 生理用ナプキン
- 2 吸収体
- 3 液不透過性の防漏材
- 4 滑り部材（部材）
- 5 粘着部（粘着剤）
- 6 液透過性の表面材

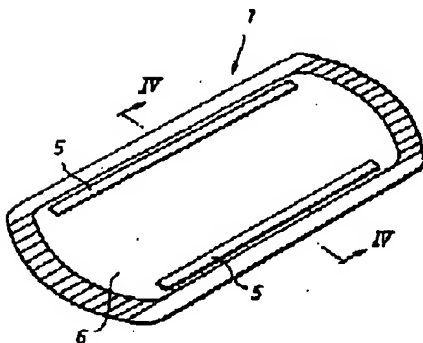
【図1】



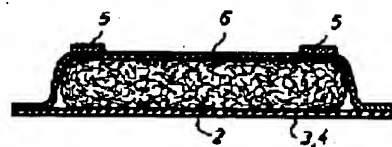
【図2】



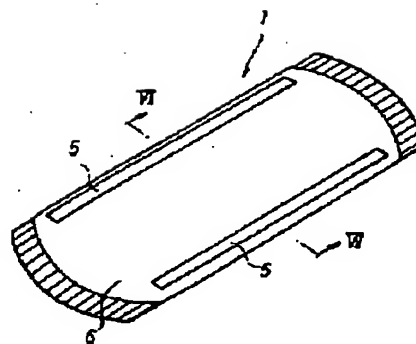
【図3】



【図4】



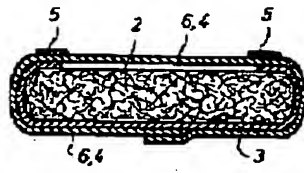
【図5】



(3)

发明平4-128729

【图6】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、生理用ナプキン、特に、着用者の肌に直接粘着して保持する生理用ナプキンに関する。

【0002】

【従来の技術】

生理用ナプキンは、着用者の股下に保持して使用されるものであるが、従来、かかる生理用ナプキンを股下に保持するための種々の技術が提案されている。

例えば、実開昭60-166323号公報には、生理用ナプキンの裏面（バックシート面）に短冊状の粘着テープを配置し、着用時に該粘着テープを生理用ショーツまたはパンツ等に粘着固定し、生理用ナプキンを排泄ポイントに保持する技術が開示されている。

【0003】

また、実公昭55-37129号公報には、生理用ナプキンの使用面（表面）側、即ち、トップシート面側に粘着剤を設け、着用者の股下において着用者の肌に直接粘着するようにした構成が開示されている。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

しかし乍ら、前者の従来の技術では、生理用ナプキンを生理用ショーツ側に固定するものであり、着用者に対して固定するものでないため生理用ショーツがずれた場合には、生理用ナプキンもそれに付随してずれてしまうという問題点がある。特に、歩行時や激しい運動をする場合には、生理用ショーツがずれやすく、排泄ポイントから生理用ナプキンがずれて経血のもれを生じるという問題点がある。

【0005】

後者のトップシート面側に粘着剤を設けた従来技術では、生理用ナプキン着用者の肌に直接粘着するものであるから、生理用ショーツ等のずれによる生理用ナプキンのずれは少ないが、生理用ナプキンのバックシートと生理用ショーツとの



間の摩擦が大きいと、摩擦力の作用により生理用ショーツの位置ずれに伴って生理用ナプキンが次第にずれるという問題点がある。このような摩擦力による位置ずれを防止するため、粘着剤の粘着強度を強めることも考えられるが、あまり粘着強度が強いと引き剥がす時に肌を傷つけたり痛みを与えることになるため粘着強度を単に高めることはできない。また、生理用ナプキンの大きさに限りがあるため、粘着面をあまり広くとることもできない。

#### 【0006】

このように、従来は、生理用ナプキンを着用者に確実に保持することができないという課題がある。

従って、本考案の目的は、吸収性物品を排泄ポイントに確実に保持することができる生理用ナプキンを提供することである。

#### 【0007】

##### 【課題を解決するための手段】

本考案は、液透過性の表面材と、液吸収性の吸収体と、液不透過性の防漏材とを積層してなる生理用ナプキンにおいて、上記液透過性の表面材側には、着用者の肌に粘着する粘着剤が配され、液不透過性の防漏材の非肌当接面側に表面摩擦係数が0.3以下の部材を用いていることを特徴とする生理用ナプキンを提供することにより、上記目的を達成したものである。

#### 【0008】

##### 【作用】

本考案の生理用ナプキンは、着用時に、液透過性の表面材側に設けられた粘着剤にて着用者の肌に粘着して着用者に直接固定され、着用中には、生理用ナプキンの防漏材側に特定の摩擦係数を有する部材を設けることにより、生理用ナプキンがショーツ等の下着に対して滑り、下着との摩擦が生じても、摩擦力による位置ずれが生じない。

#### 【0009】

##### 【実施例】

以下に添付図面を参照して、本考案の好ましい一実施例を詳細に説明する。

図1及び図2に示すように、本考案の実施例による生理用ナプキン1は、液透

過性の表面材6と液吸収性の吸収体2と、その吸収体2を覆う液不透過性の防漏材3とが積層されており、更に、液不透過性の防漏材3の外側には滑り部材4が配置され、その液不透過性の表面材6側には、粘着剤としての粘着部5が設けられている。

【0010】

吸収体2は、偏平な形状に成形されており、解繊バルブを主材とした吸収性繊維を充填して構成されている。

液不透過性の防漏材3は、吸収体2を巻き上げるように設けられている。液不透過性の防漏材3は、熱可塑性樹脂をフィルム成形したもの、湿式不織布や紙を熱可塑性樹脂でラミネートした複合材等を用いるのが好ましい。

【0011】

液不透過性の防漏材3の外側には、シート状の滑り部材4が配されている。滑り部材4は、肌当接面側に配置される粘着部5のずり抵抗力に対し十分小さい摩擦係数を有する材料として、表面摩擦係数が0.3以下の部材が用いられる。

上記部材の素材としては、スパンボンド、ヒートボンド等の乾式不織布、適性な表面状態を有するエンボスフィルム、ネット状材料、発泡シート材料等が用いられ、特に、乾式の不織布で柔軟性を有し伸縮性のあるもの、適性な表面状態を有するエンボスフィルムが好ましい。

【0012】

本考案に用いられる滑り部材4の摩擦係数は、KES-SE（カトーテック株式会社製）を用いて50gf荷重下で測定した。摩擦子は0.5mmワイヤーを用いて測定され、0.3以下であり、好ましくは0.26以下が望ましい。0.3以上では、ショーツ等に追従してしまいショーツ等の位置ずれにともなって生理用ナプキン1がずれてしまうからである。

【0013】

粘着部5は、ナプキンの外側に延出されて配置されている。かかる粘着部5は通常の浸水性高分子化合物を主成分とした粘着剤、親油性高分子化合物を主成分として粘着剤等が用いられ、使用時に粘着剤上の剥離フィルムを剥がして使用するようになっている。

本実施例による生理用ナプキン1を使用するときには、まず、図1及び図2に示す状態から剥離テープ（図示せず）を引き剥がし、粘着剤が配置された粘着部5の表面側を着用者の股下の排泄ポイントに当てて直接肌に粘着固定する。

【0014】

着用中においては、歩行または激しい運動時に、生理用ナプキン1は着用者に直接的に粘着固定されているから、該着用者の動きに追従し、所定の排泄ポイントからずれることなく確実に保持される。

一方、着用者の動きに対してショーツ等の下着は着用者の動きに追従できず、位置ずれを生じることがある。このような位置ずれが生じると、ショーツが着用中の生理用ナプキンの裏面と擦れ合って、その摩擦力により生理用ナプキン1の位置をずらそうとするが、生理用ナプキン1の裏面には摩擦係数の充分小さな滑り部材4が配置されているから、摩擦力をほとんど作用させず、ショーツ等による生理用ナプキンの位置ずれが防止される。

【0015】

本考案の生理用ナプキンは、上述した実施例に限定されることなく、本考案の要旨を逸脱しない範囲で種々変形可能であり、液透過性の表面材側に粘着部が配され、液不透過性の防漏材側に表面摩擦係数が0.3以下の部材が配されていればよい。

例えば、上述の実施例では、表面摩擦係数が0.3以下の部材は液不透過性防漏材3の外側（下側）に積層して配置されているが、少なくとも裏面材側が0.3以下の摩擦係数を有するものであれば良い。

【0016】

また、図3に示すように粘着部5がナプキンの長手方向の端部に略平行になるように配置されており、図4の如く、防漏材3に摩擦係数が0.3以下になるようにエンボス等の処理を施せば、あえて滑り部材を外側に積層する必要はなく、更に、図5、図6に示すように、表面材6で吸収体と防漏材3を覆うような構成を有する生理用ナプキンであれば、表面材6自身の摩擦係数が0.3以下であれば良い。また、表面摩擦係数が0.3以下の部材は、単一の素材である必要はなく、摩擦係数が0.3以下であれば2つ以上の素材から形成され、面状、点状ま

たは線状に配置されても差し支えない。

【0017】

【考案の効果】

本考案の生理用ナプキンによれば、吸収性物品を排泄ポイントに確実に保持することができる。

即ち、肌当接面側に粘着部を設け、更にそれと反対側の裏面側に特定の摩擦係数を有する部材を配置させることにより、ショーツとの滑り性を良くすることで粘着部の効果をより向上させることが出来、吸収性物品をあらゆる動きに対して排泄ポイントに確実に保持することができる。

【0018】

更に、ショーツとの滑り抵抗性が少ないことから粘着部の面積や強力を低減させることも可能であり、肌に接着することによる違和感を著しく低減させることが可能である。

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-128729

(43)Date of publication of application : 30.04.1992

(51)Int.Cl.

G03B 11/04

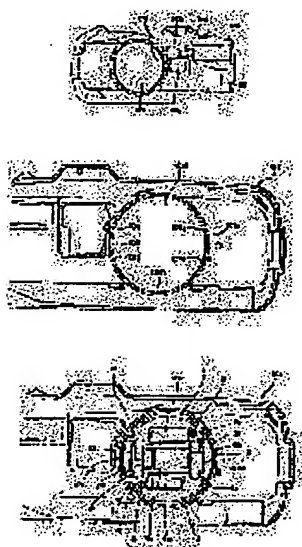
(21)Application number : 02-250783

(71)Applicant : MINOLTA CAMERA CO LTD

(22)Date of filing : 19.09.1990

(72)Inventor : ANDO MAKOTO  
MORI JUNJI

## (54) LENS CAP



## (57)Abstract:

PURPOSE: To prevent a lens cap from coming off from a lens by extending a lens barrel when the lens cap is attached so that an engaging attaching part is interposed between the lens barrel and a projection and the extending action of the lens barrel is stopped.

CONSTITUTION: Engaging attaching parts 2b and 3b which can be engaged with recessed parts 101e, and 101f formed inside the projection 101k of the lens cap attaching aperture part 101d of the front cover 101 of a camera 100 are provided. And the engaging attaching parts 2b and 3b are interposed between the lens barrel 102 and the projection 101k by extending the lens barrel 102 when the lens cap is attached, so that the extending action of the lens barrel is stopped. Thus, the lens cap is prevented from coming off and falling and the camera is prevented from releasing though the lens cap is attached.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office